

1 単元 屋久島の「音」をイメージしよう

2 指導観

○ 単元観

本単元は、音楽科の授業と総合的な学習の時間を関連づけた、学習効果を高める取組のひとつである。11月に屋久島修学旅行が実施されるが、生徒には屋久島の自然を見るだけ聞くだけではなく、五感をフルに使って感じてもらいたい。都会のど真ん中で生活している生徒にとっては、屋久島で見るもの聞くもの触れるもの全てが新鮮なものに感じられるであろう。しかし、いくら美しいものがそこにあっても気付かなければ深まりをもたない。

そこで、大自然という見たことのない音の世界をイメージさせ、感じたことを自分なりの言葉で表現させたり、自然の音を聴き比べることは有意義な学習であると考え。小鳥のさえずりや、枯葉のざわめきなどの音に気付き耳を傾けられるよう、教材開発に力をいれていきたい。

ただ単に「波の音」「風の音」という表現にとどまることなく、屋久島の自然の神秘から生まれる音を取り上げていきたい。

○ 生徒観

本学級は、男子15名女子15名のクラスである。今回は、総合的な学習の時間の取組に関連した音楽の授業を行うため、特別支援学級の生徒、男子2名女子1名、計3名も交流する。

全体的に優しく穏やかな生徒が多く、非常に素直である。授業における表現活動においては、活発に意見を言ったり発表したりするといった積極性には欠けるが、与えられた課題に真剣に取り組み、一生懸命にイメージをふくらませようと努力する姿をみせている。また、作業等も器用にこなすことができる。

生徒はこれまで、屋久島の修学旅行に関わる学習として、映像を通して間接的に自然を体感したり、屋久島をこよなく愛する人たちの講話を聞いたりして、屋久島の自然に深く興味をもっている。本授業においては、生徒の興味・関心を生かしながら、屋久島の映像や実物の砂などを手に取りながら、見たことのない音世界を想像させ、頭の中に浮かんできた島の音を言葉で表現する取組を行ってほしい。

○ 表現の場の内容及び工夫

屋久島の自然をより身近にリアルに想像できるよう、音楽室の教室環境を工夫した。植物を飾ったり、生徒がイメージする屋久島の雰囲気や前時の授業で引き出し、生徒と共に作り上げた教室環境である。

映像を見て頭の中にイメージした音を、擬態語や擬音語を使って表現させたり、色に例えて個性を表現させてみたりと、様々な表現方法を工夫する。また、実際に見たことがない世界を想像しようという活動から、音を言葉で自由に発表する場を設け、仲間の豊かな感性に触れる、認め合う機会を作る。

3 指導計画 6時間

第1次	音のない世界	1時間	
第2次	生活の中の音	2時間	
第3次	屋久島の音	3時間	(本時3/3)

4 本時 平成21年10月2日(金) 第5校時 4/6時間 音楽室にて

(1) 本時の指導観

生徒は、都会の生活環境の中で育ってきた。そのため、普段の生活の中で聴こえてくる音と、自然の中から聴こえてくる音の違いを探ることはとても有意義である。生徒は1年次に、物語に合う音楽をイメージして発表したり、楽曲の一部分から作曲者の気持ちを想像したりするイメージ活動を行ってきた。

本授業においては、自然音を取り上げ、それらが人々の生活にどのような影響を与えているかを考えたり、音のない世界や静寂の心地よさを感じたりする取組を行っていく。自然の奏でる神秘的な音をイメージすることによって、これまで未知の世界だった自然が、身近に体感できると思われる。

(2) 主眼

- スクリーンを通して映し出された映像から、音をイメージすることができる。
- イメージした音を、自分なりの言葉で表現することができる。

(3) 準備

- ①ワークシート ②色鉛筆 ③スクリーン ④南国の砂や珊瑚 ⑤自然音録音音源
- ⑥自然音CD ⑦屋久島のDVD

(4) 展開

学 習 活 動 ・ 内 容	準備	学 習 の 手 立 て	形態	配時
1 教室やBGMの雰囲気から、本日の学習を予想する。 ・心の色を塗る。	① ②	・生徒が教室に入ってきたときから、ゆるやかな音楽を流したり、光を調節したりと、授業の雰囲気づくりを行う。 ・毎回の授業と同じように、今日の心の色を塗らせる。 ・授業の導入から本日の学習内容を予想させ、「屋久島「自然」というキーワードを引き出す。	一斉	5
2 本時の学習のねらいや流れを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">屋久島の「音」をイメージしよう。</div>			一斉	3
3 さまざまな音原理を振り返る。 ・前時の復習 ・音のない世界 ・生活の中に響く音	⑤ ⑥	・前時の学習を振り返るとき、よりリラックスした空間で自由に発表できるように配慮する。	一斉	7
4 映像や実際物を通して音をイメージする。 ・海から聴こえてくる音 ・波の音の違い ・砂の色や粒の大きさの違い ・山々から聴こえてくる音	① ③ ⑦	・「波の音」や「虫の声」などという抽象的な言葉ではなく、どんな色をしているか、どこから聴こえたかなど、より具体的な言葉で表現できるようアドバイスする。	個	30
5 本時の学習のまとめと次時の予告を聞く。 ・屋久島でぜひ味わってほしいこと		・屋久島にしかない音を探したり、生徒自ら自然の音を味わわせるよう、鳴っている音に気付くという感性を大切にさせる。	一斉	5